

①函館八幡宮



社伝によれば亀田郡領守河野政通が現在の元町公園付近に館を築いた際に、その東南の隅に八幡神を鎮祭したのが始まりといわれている。明治13年(1880)に現在の場所に移転した。市民からは「八幡様」の愛称で親しまれている函館を代表する神社。

②函館護国神社



箱館戦争時の新政府戦死者を祀る招魂社として、明治2年(1869)に創建。その後、昭和14年(1939)に函館護国神社となり、昭和21年(1946)に「函館潮見丘神社」と改称し、昭和29年(1954)に「函館護国神社」に復称する。

③船魂神社(ふなだまじんじゃ)



北海道最古の神社。保延元年(1135)に海上安全を祈念して祀られたのが最初。江戸時代に船大明神として祀られ今日でも「ふなだまさん」と愛称されている。

④山上大神宮(やまのうえだいじんぐう)



社伝によると約600年前に藤坊という修験者が当地に渡来、伊勢神宮の御分霊を奉斎したことから始まる。明治7年(1874)にこの地に遷座し、町名「山上町」から神社名称を「山上大神宮」と改称。

⑤東本願寺船見支院



日本最初の鉄筋コンクリート寺院として名高い元町の東本願寺函館別院の墓地を管理するため、明治37年(1904)に建てられたもので、現在の建物は大正15年(1926)に完成した。

⑥実行寺(じつぎょうじ)



ペリー来航時には写真スタジオとして利用され、その後ロシア領事館としても使われた歴史を持つ寺院。現在地には明治14年(1881)に移転した。

⑦称名寺



イギリスとフランスの領事館としても利用され市内では高龍寺に次いで古い寺院。境内には高田屋嘉兵衛一族の墓のほか、北海道最古の石碑「貞治の碑」(貞治6年(1367)2月の銘がある板碑)(北海道指定有形文化財)が保存されている。

⑧高龍寺



函館に現存する寺院としては最も歴史を有し、箱館開港当初には実行寺とともにロシア領事館関係者の仮宿舎となり、箱館戦争時には箱館病院の分院として使われた。現在地には明治12年(1879)に移転した。

函館寺社巡り ~函館山の山裾に行むヒーリングスポット 神社仏閣巡り~

所要時間 100分 距離 4.3km 消費カロリー 300kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。

